

大刀洗町住民協議会概要

大刀洗町住民協議会とは

町の様々な課題を行政任せにせず、町民が「自分事」として、解決策や税金の有効な活用方法を考え、意見するための取り組みです。

課題の現状を知り、意見を出し合うことで、町民の意見の行政への反映や、意見が違う町民同士の相互理解を進めます。

住民協議会の参加者と役割

住民協議会委員（無作為抽出で選ばれた住民）

各テーマについて、住民（納税者、利用者）として改善点（行政と住民の役割分担など）を考え、「改善提案シート」に自分の意見をまとめる。

多くの町民が町の課題や税金の使い方を「自分事」として考え、意見するために、委員は「無作為抽出」で選ぶ。

コーディネーター（進行役）

議論の進行役および論点整理、必要に応じて論点の提示、事実関係の確認などを行う。

荒井 英明（神奈川県内陸工業団地協同組合 事務局長）

伊藤 伸（一般社団法人構想日本 総括ディレクター）※第1回のみ参加

ナビゲーター（解説および議論のリード役）

住民協議会委員が議論を行う際の論点提示役。議論をするにあたって必要な事実関係を行政の説明者から聞き出したり、考え方の視点の提供を行う。

※ナビゲーターは現在調整中

テーマ関係事業担当職員（大刀洗町）

テーマについて、その目的や具体的な取り組み状況などを住民協議会委員に説明する。住民協議会委員が議論を行う際には、委員やナビゲーターからの質問に答える。

スケジュール

- | | | |
|-----|-----------------|-------------------|
| 第1回 | …令和2年1月23日（月・祝） | 協議会の趣旨確認、全体での情報共有 |
| 第2回 | …令和2年12月26日（土） | 委員間協議 |
| 第3回 | …令和3年 2月 6日（土） | 委員間協議 |
| 第4回 | …令和3年 3月13日（土） | 答申案を下敷きに協議 |